

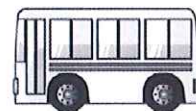
議会の視点・論点

Q 無償貸付をしようとしている土地に建っている建物などが子どもたちに相続された時や、改築、増築、また退去された場合の町との契約はどのようになるのか。

A 今回寄付をいただいた土地は名義上、今金町になっております。お子さま等に相続が発生すれば、基本的に町との契約は継続されると考えます。改築や増築については、その方の意志を尊重しますが、事前に協議を求めることになると思います。土地を使用しなくなった場合については、基本的には現状復帰していただき、建物を撤去した上で、町との契約が解除されるということで考えております。(総務財政課)

Q デマンドバスについては大変成果が上がっており、平成30年についてもエリアを広げて取り組みをするということでありました。デマンドバスの更なる拡充ということで、6月議会に路線バスが走っている範囲の中でも取り組みができないか話をしたが、その話は地域交通協議会の議題となった経過はあるのか。

A 地域交通協議会については1回開催しております。その前段で函館運輸局とデマンドバスの事業者の東ハイヤーの中で拡張の話をした経過がありますが、現状では拡張するには車両も人手も不足しているののでこれ以上の拡張はできないとの返事をいただいております。現在はそこで話は止まっておりますが、引き続き、拡張については話題として上げていきたいと考えています。(まちづくり推進課)



Q 新総合体育館のトレーニング室にはインボディー（体成分分析装置）を測る機器を導入しますが、この機器をどのように活用していくのか。

A 今後、スポーツアドバイザーとして職員を1名配置することとしており、健康づくりや体力づくりのアドバイスをを行う予定です。トレーニング室の備品については、有酸素系の運動トレーニング用、ウエイトトレーニング用のマシンを用意しますので、保健福祉課とも連携をしながらインボディーのデータを活用した健康づくりや体力づくりなど、運動する方が目標を持てる取り組みを行いたいと考えております。(教育委員会)

Q クアプラザピリカのレストハウス内に設置しているボルタリングとミニランプは冬期間はどうするのか。また、利用状況はどの程度か。

A 冬期間については、ミニランプについてはレストハウスの休憩スペースが狭くなるので撤去いたします。ボルタリングについては、スキーの休憩中でも活用できるように通年で設置したいと考えております。また、いま現在の利用状況は、ボルタリングが60名、ミニランプが20名となっております。(まちひと交流課)



Q クアプラザピリカの4月にオープンした交流棟の利用状況は。

A 9月24日現在、宴会利用が9件で159名、会議利用は8件で173名、合宿による宿泊利用が13件で130名、合計462名の利用となっております。また、交流棟での宿泊は465名が利用しております。(まちひと交流課)

Q 今回の胆振東部地震による停電で町内5か所（花石・種川・金原・神丘・町民センター）に避難所を開設したが、高齢者や病気を抱えた人向けの福祉避難所の開設の想定はあったのか。

A 今回の避難所開設は自主避難の形をとっておりました。避難勧告など行政が出した場合で避難が長期間に及ぶ場合には、避難所を開設したのちに福祉避難所を開設することになっておりますが、今回については自主避難ということで、福祉避難所の開設は想定しておりません。（まちづくり推進課）



Q 避難所に避難する場合、ペットの同行避難も考えられるが、今後どのように対応していくのか考えがあれば。

A 年々ペットの同行避難が増えていることは報道等を通じて耳にしております。今後は想定される災害に備えて避難所におけるペットの同行避難も併せて考えなければならないと思いますが、ペットには色々な種類があることや、避難者によってはアレルギーを引き起こすことも考えられるので、この辺は慎重に扱わなければならないと考えております。（まちづくり推進課）



Q 避難所の発電機については、いまの大きさのタイプで良いのか。要望を聞いたのは携帯電話やスマートフォンの充電が間に合わない。充電をするためのタップが少なすぎる。また、発電機の稼働が午後5時から9時までで、果たして消灯は9時で良いのか。

A 昨年度購入した5か所の避難所に設置している発電機の出力は2800Wであります。これは主に改善センターにあります縦型ストーブ2台、テレビ等、携帯電話の充電が20台程の利用を想定して購入しております。携帯電話等の充電については、5か所の避難所で181人が充電にられました。充電については今後も想定されますので、必要な備品の充実を図りたいと考えています。また、発電機の稼働時間については、燃料が不足するという情報もありましたので、午後5時から9時までとさせていただきました。（まちづくり推進課）



Q 今回の停電により、酪農業では約28トンの生乳の廃棄などで300万円程の被害があったが、商工業での被害状況は。また、この停電による発電機の要望、その支援に対する取り組みはあるのか。

A 今回の停電による商工業関係の被害状況ですが、停電の影響による食材の廃棄や宿泊のキャンセル等で約514万円の被害となっており、このうちクアプラザピリカについては、207名の宿泊等のキャンセルがあり被害額は約122万円となっております。発電機の要望については、商工会を通じてヒヤリングをさせていただき、21事業者のうち、19事業者が大小問わず導入したい考えがあると聞いております。支援については、いまある産業基盤整備事業の中で、発電機を特化して受け付ける制度設計を進めているところであります。（まちひと交流課）



Q 昨年、今年と不審者による声掛けがありました。声掛けに対する注意喚起や関係機関との連携もありますが、子ども達が遊ぶ公園や公共施設に防犯カメラを設置することについて検討すべきと考えるが。

A 防犯カメラの設置については、せたな地区の防犯協会の中でも話題になっております。実際に今金町ではコンビニエンスストア等の商店に防犯カメラを設置しているところがありますが、まちとして防犯カメラを設置してはおりません。これから新設される体育館や中学校については、防犯カメラを設置することとなりますが、その他の設置については防犯協会の中で検討させていただきたいと思っております。（まちづくり推進課）

